

第 43 回卒園式を実施！～43 名の園児が元気に巣立つ！～

3月15日(日)、「第43回卒園式」が実施されました。

進行役の先生の「卒園児入場」という声が式場に響くと同時に、卒園児たちが入場しました。少し緊張した面持ちで、入口で一礼をして前を向いて入場してきました。座席に着くと、列ごとに礼をして着席します。

開式のことばの後は、式のメインである「卒園証書授与」です。園児たちの緊張が高まり、表情も硬くなります。しかし、全員がしっかりと礼をして受け取ることができました。自席に戻るときも、胸を張りしっかりと足取りで、とても堂々していました。



次に、皆勤賞の表彰がありました。1年間または2年間休まず登園し続けた9人の園児が表彰を受けました。名前を呼ばれると元気な返事が聞こえました。さすが皆勤賞を受ける子どもたちですね。

そして、園長先生のお話の後に「在園児代表お祝いのことば」がありました。うさぎ組2名、ぱんだ組2名、計4名の年中組の代表が「初めて幼稚園に入って、何も分からない私たちに、いろいろ教えてくださいました。お家に帰りたいと泣いていた時、優しい言葉をかけてくださいました。」などと、卒園児へ感謝やお礼のことばを堂々と述べることができました。「もうすぐ年長組になる。」という自覚をしっかりと見る事ができました。

次は、「卒園児お別れのことば」です。4月から行った様々な行事を振り返りながら、楽しかったことや頑張ったこと、大変だったことなどを卒園児一人ひとりが発表しました。「お別れのことばの後、卒園児全員で「さよなら ぼくたちの ようちえん」を歌いました。歌いながら今までの園生活を思い出し、感極まって涙を流す園児もいました。

その後の「記念品贈呈」は、進行の先生から紹介されました。





次に、園児全員で「思い出のアルバム」を今までの中で一番元気に歌いました。

子供達が過ごしてきた純粋な毎日に思いを馳せ、涙ぐむお母さん方の姿がとても印象的でした。

最後に、園児たちが一番お話になった担任の先生に、各組の代表者が花束を手渡しました。涙目で花束を手にする先生方の愛情の深さに感動しました。



閉式のことばの後、退場になります。しかし、ただ退場するのではなく、卒園児一人ひとりが自分なりのメッセージを伝えてから退場しました。「お母さん、毎日美味しい食事を作ってくれてありがとう。」「お父さん、お仕事頑張ってくれてありがとう。」など、親への感謝やこれからの抱負などをしっかりと宣言して退場することができました。



今年度は新型コロナウイルスへの対応のため、残念ながら簡略化した卒園式となってしまったことをお詫び申し上げます。保護者の皆様には在園中幼稚園の運営に多大なるご理解とご協力を賜り誠にありがとうございました。